

低い空間周波数

「ぼやけた表現」は、高い空間周波数成分が取り除かれ、低い空間周波数成分が主役

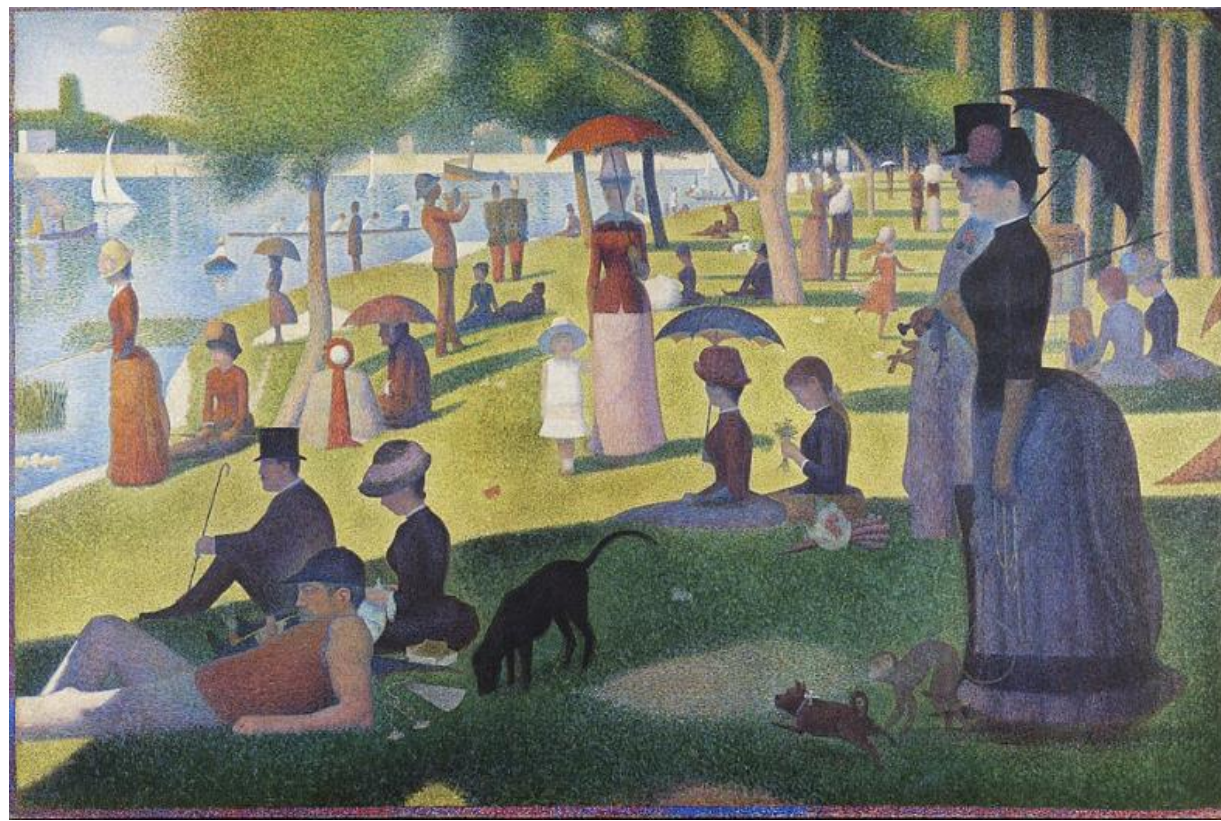
クロード・モネ『印象・日の出』



高い空間周波数

細かな点、線、複雑な模様がびっしりと描き込まれており、明暗や色が激しく入れ替わる作品

ジョルジュ・スーラ『グランド・ジャット島の日曜日の午後』



低い空間周波数

尾形光琳『紅白梅図屏風』



背景には空や地面などの細かい描写が一切なく、「一面の金箔(金地)」だけで埋め尽くされています。中央に流れる川には少し模様がありますが、背景の広大な金色のフラットな面は、まさに明暗の変化がないもっとも極端な「低い空間周波数」の状態

長谷川等伯『松林図屏風』

「何も描かれていない白い霧の空間(余白)」であり、松の木自体も荒い筆遣い(かすれ・にじみ)でボヤけて描かれています。細部(高い周波数)が極限まで削ぎ落とされており、遠くから見たときの「大まかな空気感や湿気(低い空間周波数)」だけが脳に強く語りかけます



高い空間周波数

伊藤若冲「南天雄鶏図」

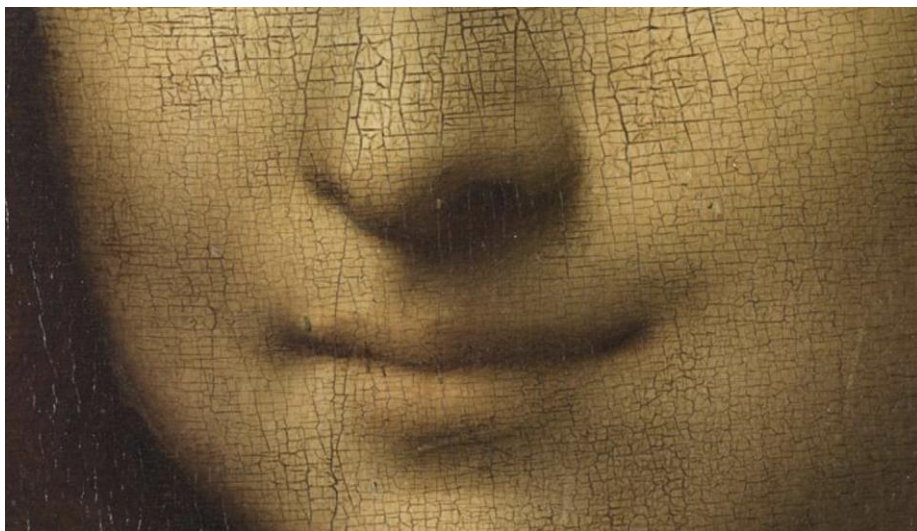
高精細な水墨画・日本画(高い空間周波数)



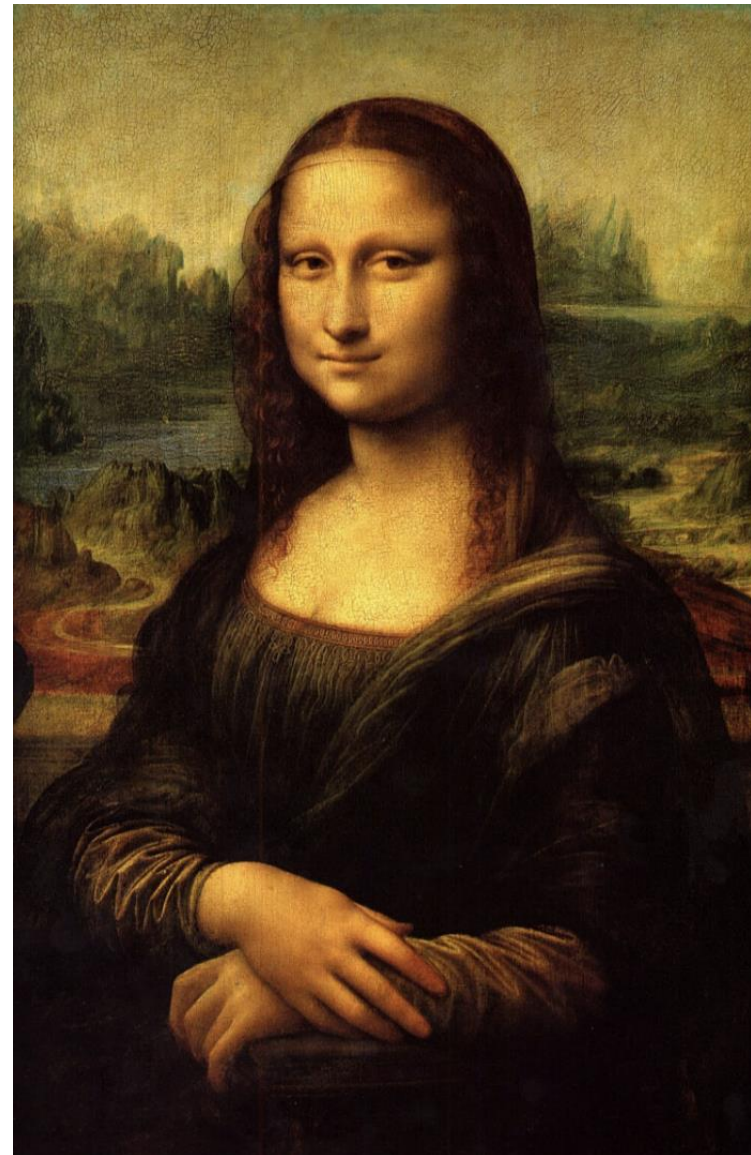
ダヴィンチ「モナリザ」

遠くから見る、または視線を少し外す(高い空間周波数を見る):
目元や顔の細かいパーツは、比較的是っきりとし、口元がキュッと上がって微笑んでいるように見える

近くで見る(低い空間周波数を見る):口元の境界線がボヤけているため、笑っているかどうかははっきりしない



スフマート (ぼかし) 技法



ダリ「地中海を眺めるガラ」

近くで見ると(高い空間周波数):

ダリの妻であるガラが、四角い窓(ブロック)の向こう側にある地中海と、燃えるような太陽(キリストの姿)を見つめている後ろ姿

20メートル離れる、または目を細めると(低い空間周波数):

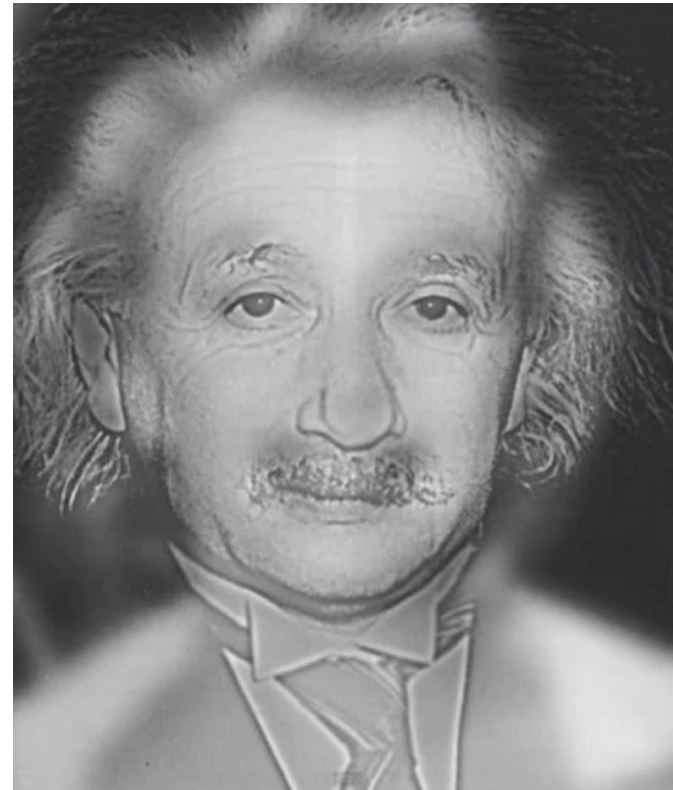
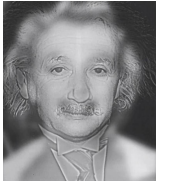
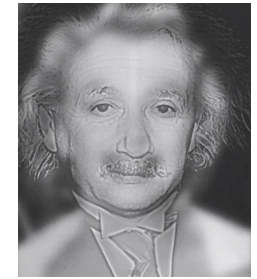
細部の情報がぼやけて消え、四角いブロックごとの「大まかな明るさ(明暗のグラデーション)」だけが脳に届きます。すると、画面全体に第16代アメリカ大統領エイブラハム・リンカーンの顔



オード・オリヴァ博士 作 ハイブリッド画像

低い空間周波数

モンローの「粗い画像(輪郭や大まかな明暗)」



高い空間周波数

アインシュタインの「細かい画像(シワや目の輝き)」

